



首都直下型地震を想定した

立川広域防災基地連絡協議会災害訓練の実施について

独立行政法人国立病院機構災害医療センター他 27 機関で構成する立川広域防災基地連絡協議会は、首都圏直下型地震を想定し、都心からの多数傷病者受け入れ訓練を実施いたします。

本訓練は、阪神淡路大震災から 15 年目の節目の年にあたり、我が国の災害医療政策について再確認するとともに、大規模地震発生時の対応についてベクトルを共有することを目的とします。

1. 日時 **平成 22 年 1 月 16 日 (土) 午後 1 時 00 分から午後 4 時 00 分**
2. 場所 東京都立川市緑町 3 2 5 6 **独立行政法人国立病院機構災害医療センター**
3. 訓練想定
東京湾北部を震源とする首都直下地震(M 7.3)が発生、都心部は壊滅的な被害が発生し、多摩地域(立川地域)においても震度 6 弱の地震が発生し、建物崩壊等の被害がでている。民間航空会社、警視庁、東京消防庁、各航空隊所有のヘリコプターを、いわゆる域内搬送ヘリとして運用し、仮想災害拠点病院から災害医療センターへ傷病人を搬送する。
さらに、搬送された傷病者のうち、重篤な者については、同センターから陸上自衛隊立川駐屯地に搬送し、仮想自衛隊大型機により域外に搬送する。
4. 参加機関 内閣府立川広域防災基地災害対策本部予備施設、警視庁立川警察署、警視庁航空隊立川飛行センター、東京消防庁立川消防署、東京消防庁消防救助機動部隊、東京消防庁装備部航空隊、陸上自衛隊立川駐屯地、国土交通省関東地方整備局国営昭和記念公園事務所、東京都西赤十字血液センター、国立病院機構災害医療センター
5. 協力機関 内閣府
厚生労働省
東京都福祉保健局他

※ 大規模災害発生時の院内対応及び関係諸機関との連携の検証を目的とした訓練ですので、申し訳ございませんが、一般の方の見学はご遠慮願います。